

Dornröschen

～グリム童話より「いばら姫」～

「その子は死ぬのではなく、百年の深い眠りに落ちるのです。」

あらすじ

子供ができずに嘆いていたある国のお后^{きさき}様は、ついに美しい女の子を産みました。王様は盛大な宴^{うたげ}を開き、国内にいた13人の賢い女から12人を招待します。招待されなかった女はこれを恨み、女の子に15歳で紡錘^{つむ}に刺されて死ぬという呪いをかけてしまいます。呪いを打ち消すことはできませんでしたが、和らげることができました。そして王様は娘を不幸から守るため、国中の紡錘を焼き払うよう命令したのです。

さて15歳になったその日、女の子は焼却を免れていた紡錘を見つけてしまいます。紡錘に触れ、痛みを感じた瞬間、女の子は深い眠りにつき、それどころかお城の中の家来も犬もハエも、かまどで揺らめく炎さえも眠り静まり、やがてお城は茨^{いばら}で覆^{おお}われてしまうのです。茨に閉ざされ、百年の眠りにつきたいばら姫を救う奇跡とは……。



グリム兄弟

ドイツ語班から

いばら姫という物語には多くの生き物が登場します。眠りの呪いはそれらの生き物にも及び、さらに物にさえ影響を及ぼしていきます。お城中が静寂に包まれ深い眠りにつき、そして目ざめていく。その様子が見事に描写されています。

朗読ではさまざまなシーンに合わせて音楽を選び、読みの速さや強弱の付け方を工夫しました。ドイツ語らしく、いかに滑らかな発音にするか、メンバー同士で話し合いながら練習しましたので、どうぞ原語による物語の世界をお楽しみください。

(イラスト：甲田みずほ)